

服飾デザイン科 1・2年生

先輩に学ぶ

【期 日】7月19日（火）

【目 的】・活躍する卒業生から話を聞き、学習に対する関心を高め、積極的に取り組む意欲と自主性を養う。

・卒業後の進路について考える。

【卒業生】令和元年度卒業生 大下 彩楓さん（国際ファッション専門職大学3年）

☆第96回装苑賞 グランプリ受賞（R4.6.21）

講話の様子



＜装苑賞への取り組みについて＞

◎テーマ「音戯（おとぎ）」

目に見えない音の動きをデザインに落とし込み、白と黒のチュールを縫い合わせたドレス3点を製作しました。軽やかさとボリュームを両立させることが大変でした。

＜デザインの発想について＞

美術展やブランドの衣装などアートに触れる機会だけでなく、常にきれいだと思ったことをメモに残しています。コンセプトや伝えたいメッセージをしっかり決めてからデザインしています。

【1・2年生の感想】

- ・今回の話を聞いて、普段からたくさんのものに触れる機会を作りたいと思いました。型紙も前後左右で変えたり、コンセプトに合った素材を選んだりこだわりをもって作成することが大切だと知れて良かった。
- ・受賞作品を見て、テーマのように軽やかな動きをする様子がとてもきれいですごいと思った。私もテーマに合うメッセージ性のあるものを造りたい。
- ・デザイン画の授業では、モチーフやテーマを決めて描けるようにしたいし、他の作品を見て視野を広げることが大切だった。
- ・ものづくりをする時は、何度でも試してみようということを大切にしていることを知って、納得ができるまで試して作りたいと思った。
- ・コンテストは自分の実力を知る機会なので、積極的に応募していきたい。
- ・裁縫もデザイン画も上手くできなくて、嫌だなと思ってしまうことばかりだった。努力で上手になると知れて、これからの授業も頑張りたい、いろいろなことにチャレンジしたいと思えた。